

記者発表資料

「R2南子安地区外改良舗装工事」において「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」、「間接工事費実績変更方式」、「見積活用方式」、「余裕期間制度（フレックス方式）」を試行します。
併せて、「難工事指定」、「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

工事発注において、入札参加者がいないことなどを理由として、入札・契約手続きのとりやめや不調が予想される工事について、不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R2南子安地区外改良舗装工事」については、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」、「間接工事費実績変更方式」、「見積活用方式」、「余裕期間制度（フレックス方式）」を試行、「難工事指定」、「施工箇所が点在する積算方法」を採用します。

○「公募指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

○「間接工事費実績変更方式」

本工事は、「安全費」、「運搬費」において、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

○「見積活用方式」

本工事は、現道交通量が多く、交差点内での限られた狭隘な作業ヤード内での施工となる工事のため、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

○「余裕期間制度（フレックス方式）」

発注者があらかじめ設定した全体工期（余裕期間と工期を合わせた期間）の中で、受注者が工事の始期と終期を決定します。受注者が決定した工事の始期から終期までが工期となり、受注者が決定した工事の始期までの間が余裕期間となります。

○「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加算対象とする「難工事指定」を採用します。

○「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在することにより、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所が発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

千葉国道事務所のホームページ、ツイッターでも道路情報が確認出来ます。

■千葉国道事務所ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/>

■公式ツイッター情報 https://twitter.com/mlit_chibakoku



ホームページ



twitter

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

電話 043-287-0311（代表）

副所長 上田 信也 交通対策課長 佐谷 祥一

《工事概要》

- (1) 工事名：R2南子安地区外改良舗装工事
- (2) 工事場所：千葉県君津市南子安地先外2箇所
- (3) 工期：工事の始期から211日間
- (4) 入札方式：公募指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別：アスファルト舗装A
- (6) 工事内容（概要）：

・千葉県君津市南子安地先（南子安地区）

道路土工	約1,080m ³
車道舗装工	約1,100m ²
歩道舗装工	約500m ²
切削オーバーレイ工	約2,800m ²
薄層カラー舗装工	約600m ²
排水構造物工	約30m
縁石工	約530m
防護柵工	約30m
標識工	7基
区画線工	約2,000m

・千葉市美浜区真砂地先（美浜地区）

道路土工	約300m ³
車道舗装工	約510m ²
歩道舗装工	約170m ²
切削オーバーレイ工	約4,100m ²
排水構造物工	約90m
縁石工	約180m
防護柵工	約270m
標識工	6基
区画線工	約1,800m

・千葉県木更津市請西地先（請西地区）

薄層カラー舗装工	約35m ²
区画線工	約400m

《「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」の試行」について》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《「間接工事費実績変更方式」について》

○実績により変更を行う工種

共通仮設費(率分)のうち「安全費」、「運搬費」

○実績により変更を行う理由

当該施工箇所は、交通集中がみられる地域（国道16号の都心側）であり、警察協議等により標示板、保安灯等安全施設等、安全管理に要する費用が多くなることが想定される。また、沿道に店舗・住宅等が連坦し、施工箇所周辺に資機材置き場の確保が困難であることから、運搬費において標準積算と乖離が想定される箇所である。

以上のことから、間接工事費実績変更方式の対象項目として、「安全費」「運搬費」を対象としています。

《「見積活用方式」について》

○見積の提出を求める工種

直接工事費のうち、道路土工、地盤改良工、舗装工(車道舗装工、歩道舗装工、薄層カラー舗装工)

○見積の提出を求める理由

施工箇所は、沿道に、工場、店舗、住宅等が連坦し交通量も多い箇所です。

施工にあたっては、現道交通を確保しながら、交差点内の限られた狭隘な作業ヤード内での施工とならなければならない、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《「余裕期間制度（フレックス方式）」について》

発注者があらかじめ設定した全体工期（余裕期間と工期を合わせた期間）の中で、受注者が工事の始期と終期を決定します。受注者が決定した工事の始期から終期までが工期となり、受注者が決定した工事の始期までの間が余裕期間となります。

《「難工事指定」について》

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《「施工箇所が点在する工事の積算」について》

本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する積算方法」を採用します。

《スケジュール》

○入札公告	: 令和3年5月26日（水）
○競争参加資格確認申請書及び資料提出期限	: 令和3年6月 9日（水）
○入札書・工事費内訳書提出期限	: 令和3年7月 8日（木）
○開札日	: 令和3年7月13日（火）

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

